

第5回 平取ダム地域文化保全対策検討会

議 事 要 旨

日 時：平成19年11月27日（火）

場 所：ふれあいセンターびらとり

北海道開発局室蘭開発建設部

沙流川ダム建設事業所

第5回平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨

日 時： 平成19年11月27日(火) 15:00～17:00

場 所： ふれあいセンターびらとり(北海道沙流郡平取町本町)

出席者：

委員	辻 井 達 一	財団法人北海道環境財団理事長〔座長〕
	稲 原 敬 三	平取町議会議長
	木 幡 サチ子	北海道ウタリ協会平取支部/平取アイヌ文化保存会理事
	木 村 英 彦	社団法人北海道ウタリ協会平取支部副支部長
	桜 井 幹 也	平取町議会総務文教常任委員会委員長
	常 本 照 樹	北海道大学大学院法学研究科教授
	西 島 達 夫	社団法人北海道ウタリ協会平取支部副支部長

配布資料： ・ 第5回平取ダム地域文化保全対策検討会 会議次第
・ 資料 - 1 第4回平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨(案)
・ 資料 - 2 調査班業務の概況 - 第5回検討会における報告
・ 資料 - 3 平取ダム付替道路工事区間における植物移植について
・ 資料 - 4の1 植物の保全対策について
・ 資料 - 4の2 植物保全対策検討フロー(案)
・ 資料 - 4の2(A) 有用植物の重み付けを考える上でのチェックリスト
(木本類・草本類)
・ 資料 - 4の2(B) 保全対策の検討・実施・管理へのフロー(案)
・ 資料 - 5 生活文化の保全対策について(案)
・ 資料 - 5の1 アイヌの人たちの農耕 - 「川洲畑」 - について
・ 第5回平取ダム地域文化保全対策検討会 座席図

議 事： 1. 開 会
2. 第4回 平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨(案) 【資料 - 1】
3. 調査結果の報告 【資料 - 2】
(1) 平取ダム地域文化調査業務の概況
・ 精神文化現地調査
・ 生物の生存環境調査
・ 生活文化現地調査
・ アイヌ語地名保全対策実践
・ 栽培実証試験
4. 第4回検討会以降の関連事項の報告
(1) 平取ダム付替道路工事について
(2) 平取ダム付替道路工事に係るカムイノミについて
(3) 平取ダム付替道路工事区間における植物移植について 【資料 - 3】
5. 協 議
(1) 植物保全対策の検討(案) 【資料 - 4】
(2) 生活文化の保全対策について(案) 【資料 - 5】
6. その他
7. 閉 会

1. 開 会

*事務局

それでは定刻となりましたので、ただいまから「第5回平取ダム地域文化保全対策検討会」を開催いたします。議題に入るまでの間、司会を務めさせていただきます沙流川ダム建設事業所の三宅でございます。よろしくお願いいたします。

まず最初に会場の皆様にお願いがございます。携帯電話につきましては電源をお切りいただくか、マナーモードへの設定をよろしくお願いいたします。

あと本日、検討会委員の内、中道委員、斉藤委員、あとは川奈野委員、鍋澤委員につきましては、公務によりご欠席とのご連絡をいただいておりますのでご了承をお願いいたします。

それでは早速、議題に入りたいと思いますので、辻井座長に進行をお願いいたします。

*座長

皆さん、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今日の第5回平取ダム地域文化保全対策検討会でございますけれども、最初に前回の第4回の議事要旨の確認を行います。それから続きまして、平取町調査班が実施した調査結果の報告を聞くことにいたします。その次に第4回検討会以降の関連事項についての報告がございます。その中身としては、一つ目は付替道路工事について、二つ目が付替道路工事着工に係るカムイノミについて、三つ目は付替道路工事区間の植物移植についての報告、ここまでが報告でして、それを聞いていただいてから協議に入ることになりますが、協議の方も幾つか項目に分かれていまして、一つ目が植物保全対策の検討案、二つ目が生活文化の保全対策について、これをそれぞれ事務局から説明をしてもらってから、協議をしていただくということになります。

では、一つ目の議題、今日のご欠席の方が少し多いのですけれども、まず第4回平取ダム地域文化保全対策検討会議事録、これは先にお目通しいただいているはずだと思いますけれども、その確認を事務局からお願いするということにいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 第4回平取ダム地域文化保全対策議事要旨(案)の確認【資料-1】

*事務局より、資料-1「第4回平取ダム地域文化保全対策議事要旨(案)」について説明

*座長

ということで、先ほども申しましたけれどもお目通しいただいていると思いますが、さらにお気づきの点ございましたらば、ご指摘をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 異議なし)

*座長

特にお声がなければ、これで宜しいということで確定しますが、宜しゅうございますか。ありがとうございました。それでは、議事要旨の案をとりまして、確定ということにいたします。

それでは次の、3、調査結果の報告ですが、これは平取町調査班から説明を順次お願いしたいと思います。宜しくどうぞお願いいたします。

3. 調査結果の報告

(1) 平取ダム地域文化調査業務の概況【資料 - 2】

*** 調査班作業主任（以下、作業主任） 吉原主幹（平取町文化財課） 調査班、各担当者より、資料 - 2 「調査班業務の概況 - 第5回検討会における報告」について説明**

*** 座長**

どうもありがとうございました。調査班の方々のご苦勞にお礼を申し上げます。そこで今の報告、全部で5つの項目に分かれていますけれども、これについてのご質問なりご意見なりありましたら承りますが、いかがでしょうか。

では、私から伺いたいのですけれども、二番目の生物の生存環境調査の説明では、ランコ（カツラ）とノヤ（ヨモギ）2つの説明をしていただいたわけですが、これは例としてということで、あと沢山あるということなんですね。同じような形でデータがあると、お取りになったということですね。

*** 作業主任**

今、座長がご指摘になったのは、この二つの図に関してですけれども、樹木と草本についてそれぞれ有用性の高いもの、30種類程度はそれぞれ分布図を作っております。

*** 座長**

同じような感じでデータがあるわけですね。

*** 作業主任**

はい。同じようにしております。

*** 座長**

それからもう一つ、三番目の川洲畑、コボンチカルのデータについてなんですけれども、説明していただいた候補地のAとBというのが、私の頭にあった、想像していたというのでしょうか、川洲畑とは随分違って、これは両方とも牧草地に現在はなっている、非常に安定したところではないかと思うのです。つまり、私の頭の中にと言いますか、今までの知識では川の氾濫などで、土砂が溜まったりした洲のところにつくられたというふうに記憶と言いますか、教わっているものだから、これは随分安定している、毎年動いているところではないのではないだろうか。

*** 調査指導員**

昔はそうであったと判断されるのですけれども、今はいろいろ河川改修等で、そういう川洲畑に適したような沖積土が堆積した肥沃な土地というのはほとんど見当たらないのです。また、そういうところ

はほとんど農地にされているという状態です。ですから、この他、この写真以外にヤナギ原とか、そういうところを何箇所か候補地はありますけれども、一番交通の便が良くて管理しやすいなというところを今は例として挙げております。その他にも4箇所か5箇所ほど良いところは確認しております。

*** 座長**

そうすると、これからはもう少し新しく洲ができて、それを使えそうだというのは、これは調査指導員さんに伺うべきではないのかもしれないけれども、河川としては難しいということですか。

*** 調査指導員**

調査の中では、以前そこで川洲畑を作っていたという場所もあったのですが、そこは既に水害で失われているとか、ご存じのように川は勝手に動いていますので、ただ、もしやるとしたら、こういう安定した場所になるのかなということも想像されます。

*** 作業主任**

今のことについて補足なんですが、これはあとで協議課題にもなっているところかと思います。どうも取り組んでみまして、あといろいろ過去の情報とかを突き合わせますと、コポンチカルと言われていましたところは条件が良いものですから比較的早くに農地になってしまって、従って対策としましても、今の川の姿から推測する川の縁ということではどうもないのではないかという、どうもやっぱり農地として括られている河川敷地の外のエリアも考えざるを得ないのかと、これは私見ですが、それは、さきほど貝澤耕一指導員が、河川敷地の中に限定されるとちょっと収まりきらないところがあるというコメントいたしました、そういったことに繋がっております。

*** 座長**

ありがとうございました。私の気がついたことと言いますか、伺いたいのはそのことなんですけれども、他に何かございませんか。

それでは、今の報告については宜しゅうございますか。先ほど、アイヌ語地名保全対策実践の担当者の方が説明してくれましたけれども、このデータは細かいので、あと実際のデータはパソコンでそこをクリックすれば拡大して読むことができるとそういうことですね。

*** 作業主任**

はい。そういうことです。

*** 座長**

わかりました。では、後でまた見せていただくということにして、今の報告は宜しゅうございますか。

(委員 意見なし)

*** 座長**

それでは、4番目になります。第4回検討会以降の関連事項の報告を聞きたいと思います。宜しくお願いいたします。

4. 第4回検討会以降の関連事項の報告

(1) 平取ダム付替道路工事について【プロジェクター使用】

(2) 取ダム付替道路工事に係るカムイノミについて【プロジェクター使用】

(3) 平取ダム付替道路工事区間における植物移植について【資料 - 3】

*事務局より、(1) (2) 及び(3) 資料 - 3 「平取ダム付替道路工事区間における植物移植について」について説明

* 座長

どうもありがとうございました。今の報告についてのご質問がございましたらどうぞ。宜しいですか。では、また後で全体の協議の時に気づきの点がありましたらご指摘ください。どうもありがとうございました。

それでは、今までのところで一通り報告が終わりましたので、協議の前に一休みということにしようと思います。10分休憩でよいですか。では4時15分に再開ということにいたしますのでお集まりください。

(10分間休憩)

* 辻井座長

では、再開したいと思います。

協議事項に入りますけれども二つありまして、一つ目は植物の保全対策の検討(案)ということです。これは事務局からまず説明をしていただくということにいたします。よろしくどうぞ。

5. 協 議

(1) 植物保全対策の検討(案)【資料 - 4の1、4の2、4の2(A)、4の2(B)】

*事務局より、資料 - 4の1「植物保全対策について」、4の2「植物保全対策検討フロー(案)、4の2(A)「有用植物の重み付けを考える上でのチェックリスト(木本類)・(草本類)」、4の2(B)「保全対策の検討・実施・管理へのフロー(案)」について説明

* 座長

今の説明についてのご質問なりご意見なりを伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

資料 - 4の2(A)ですが、「必要性」という部分でウタリ協会、企業組合と書いてあるのですが、特に食べたりするものについては、食文化部会とか、そういうのがかなり一生懸命やっているの、(平取アイヌ文化)保存会の話も聞いて、それも今日の資料の中に入れての方が良いのではないかと思うのですが。

*** 座長**

それは結構だと思います。ここに書いてあるのは、一番頭のところにあるように、今までのアイヌ文化環境保全対策調査、前に出した報告書、その中にあったものをまとめたということです。ですから今のご意見で保存会ですか。その意見なり、あるいはデータでもあったら、それを含めてというのは十分に考えなければいけないのではないかと私も思います。

アイヌ語教室でもやっているのでは。

一緒にやっているのではないか。

はいそうです。

*** 座長**

というのは私もこの資料を見て、ここの必要性のところを書いてあるのがほとんど工芸的なものなんです。食用、どういうふうに食べていたか、料理に使っていたかが、すっぱり抜けているんです。だから 委員もそういうことをおっしゃっているのではないかと思うんですけど。

かなりいろいろと一生懸命やっていますので。

*** 座長**

ここは全部見ると、ほとんど木工芸に関することしか出ていないんですね。ありがとうございました。他にいかがでしょう。先ほど 委員、休憩の時にご意見をおっしゃっていましたが、最後の栽培実証試験のところに関連することだと思いますけれども。

私の方から一つ質問させていただきます。先ほどの調査班の報告をふまえながら、今、座長が言われたように、この育成適地の部分でどこに保全するか、あるいはどこで何を栽培するか、川洲畑の問題でございますが、調査班の報告だと、植えた時期が悪かったのか、発芽もしなかった、あるいは実も付かなかったという説明がありました。そうであれば、この部分にもっと専門的な知識を持った人に入ってくださいという方法はとれないものか。もっと有効的な栽培、あるいは移植に関わる場所の、もっと専門的な知識の人がこの調査班の中に入るとか、指導を受けるとか、そういう方法はとれないものかと思っています。

*** 座長**

それは十分にとれるのではないかと思います。この栽培実験については、先ほど説明してもらった「調査班業務の概況」の「3 生活文化現地調査」の中のことだと思いますけれども。

大変前後して申し訳ございませんが。

*** 座長**

育苗畑 2 というところが、6 種類の種を蒔いて 4 種類しか穫れなかったということなんですけれども。

いわゆる、どこで保全して、どうしたら一番有効的なのかということが、もっと専門家の知識を入れることによって、もっと有効に無駄がない作業になるのではないかなと。調査班はかなり苦労されているのに、それが報われないという部分が、若干そういう部分の知識が不足していたのかなという感じを受けましたので、あえてここに専門的な知恵をお借りするというものはないものかということです。

*** 作業主任**

言われるような、観点での見直しは必要かと思います。そうしたいとも思います。それで他の作業との関係で、やや着手が遅れたりとか、候補地を決めること自体に手間取ったような事情がありましたけれども、あとは元々、種を植えた後はあまり見には行かないという粗放的なやり方と聞いておりましたので、ややこちらも安易に考えていたところがあるのかなと私は反省をしております。安易な簡単なことではないということは今回分かりましたので、ご指摘のような、もう少ししっかり系統的な試験となるような取り組みができれば良いと思っております。

*** 座長**

ということです。宜しゅうございますか。こういう有用植物と言っても、(本来は)野生のものを採取して済むというものだったら、それを栽培するというのは、なかなかデータがなかったり、種を蒔くとか、あるいは苗を採ってきて植えて育てるというようなことを全くやったことのない植物の種類というのは随分あると思います。ただ、ここで挙げられている、例えばキビとかヒエとかというのはどちらかという栽培の経験というのは随分長いことあるわけですから、今おっしゃったような、栽培したことのある人の知恵を借りるとか、やり方というのは十分に参考になる、できるはずだというふうに私も思います。

ちょうど今、川洲畑の話が出たのですが、前後しましたけれども、先ほど休憩の時間に何人かで話したのですが、座長がおっしゃったように確かに安定的なところではないのではないかと、本来の川洲畑の場所は(再現するのは)今難しいとは言われましたけれども、本当は、自然の中でできた中洲とかそういうところをつくるのが本来の川洲畑のつくり方だと思うので、難しいとは思いますが、それが少ない面積でも良いですから、やはり本来の川洲畑の場所を是非探して、それが五畝でも良いし、一反でも良いんです。やっぱりそれはやってほしいと、私は思っています。

*** 座長**

ありがとうございました。私もそう思います。大きくななくても良いんです。よく育たなくても、要するに、ああいうふうにやったんだよということを示すことができれば良いのではないかと思います。

とりわけ沙流地方は農耕が盛んだったようすし。

*** 座長**

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

調査班の方も一生懸命やっていると思います。でも、その地形によりまして水分があったり、いろいろございます。普通の畑と違いますので十分に育たないと思います。それなので、これからも水分とかいろいろ研究してやっていけるのではないかと思います。今、委員が言われたように場所は広くなくても良いから、そういうところを使用して試験栽培をやっていったら良いのではないかと思います。

*** 調査指導員**

川洲畑の件は、委員が言われた通りだと思います。画像に出た部分は採草地であったということでイメージから離れたところがありますが、確かにその通りだと思っております。(先ほど委員から言われたような)そういう候補地も把握しております。

それから今年の栽培に関して、私、本職は百姓で、私は5月の連休が終わったら種を蒔いているんです。ところが(この)仕事が始まったのが5月中頃から、そして開発(建設部)と協議して使って良いよと許可が出たのが6月、それから(種を)蒔いて、まともに収穫できるはずがありません。ですから、もしもこれをきちんと成功させるには、4月中に事業開始になっていなければ、これは不可能です。

*** 座長**

そういう条件があったということはよく分かりました。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

今の話の中のことも含めて関連したことですけれども、休憩後の説明も含めて、この川洲畑については、将来に向けてどういうふうにするのかというのと少しかけ離れているかなと思うんです。それで、そこら辺の分け方ですか、先ほど座長が言われたように、どういうふうに作っていたのかという再現と、将来どのようにして使うのかという話は、ちょっと違うのかなと思うんです。この辺の色分けとかも、これから必要になってくるのかなと思います。

*** 座長**

ありがとうございます。それでは、今までいただいたようなご意見を含めて、更に検討を加えるということで宜しいでしょうか。それで、できるだけ完璧な植物の保全対策、あるいは栽培のことも含めて進めるといことにしたいと思います。どうもありがとうございました。

もう一件あります。生活文化の保全対策についてということです。これも事務局からまず説明してください。

(2) 生活文化の保全対策について(案)【資料 - 5、5の1】

*** 事務局より、資料 - 5「生活文化の保全対策について(案)」、5の1「アイヌの人たちの農耕 - 「川洲畑」 - について」について説明**

*** 座長**

またここで、コポンチカルが出てきているわけです。生活文化の保全対策というのはコポンチカルの問題だけではないかもしれないけれども、先ほどの最初の説明、つまりどういう有用植物を使うかということに関連した生活文化の保全対策というふうに解釈、この場合には解釈しておいたら良いのではないかと思います。それで、まさに先ほど 委員がおっしゃったようなことも含めて、ここでも今の説明についてのご質問なりご意見なりをいただきたいと思います。もう既に先ほどご質問があったんですけれども、何かありましたらどうぞ。

ここでやはり 委員、分けなければいけませんね、つまり見せるという、こういうところでやっていたんだという見せる場としてということと、もう一つは有用植物として栽培、実際に必要な量を栽培するというのは、やっぱり別の場でやるということも必要になってくる。どういうふうに分けるかということを考えておかなければいけないというのが、先ほどのご意見だと思います。いかがでしょうか。

そこでもしご意見がなければなんですけれども、先ほどのこととこれは繋がっていますから、まとめて申し上げて良いのではないかなと思うんですが、先ほどの長いリストがあります。資料 - 4の2(A)ここで一つは、先ほども 委員がおっしゃった工芸的なものだけではなくて、(平取アイヌ文化)保存会で検討、あるいはデータを持ってらっしゃるような項目を必要性のところにに入れるべきではないかということです。それから、栽培実証試験については、もう少し種類によっては先ほど 委員がおっしゃったように、専門家というか、そういうことをやったことのある方々のご意見なり協力を得た方が実際、実効性のある実験になるのではないかなということを含めて、この栽培実証試験はもう一遍、種類によっては考えなければいけないのではないかなということを加えたいと思います。

それでそういったことも含めて、以前に二風谷の生活館でワークショップを行いました、ああいうような形で、やっぱりご意見を伺った方が良いのではないかなと思います。忌憚のないご意見を、これはこうした方が良いのではないかと。と言うのは、今日は個々についてまでとても時間がありませんから、この種類はどうする、この種類はどうするという事まで、とてもできないです。それから、この中に表には書いてあるのだけれども、これにまだ、先ほどのお話の保存会の方で食用としてはこういうものがあるんだということが出てくるかもしれない。もう一遍そういうのを組み替えなければいけないと思います。そういうためにも、一回で済むかどうかは分かりませんが、さしあたって何らかの形でワークショップをやった方が良いのではないかなという提案をしたいと思います。それが一つです。

それから、もう一つは、先ほど調査班の説明の時に、調査班ではアイヌ語名でずっと進めてきているんだというふうに伺って、それはそれで良いんですけれども、今の有用植物のチェックリストを作るとき、つまり、これはどう扱うかといったときには、分類順でないともものすごく大変なんです。例えば、オヒョウとハルニレというのは並んでないと、ものすごく使いづらいんです。オヒョウ(アツニ)のところを見て、次はハルニレのところを探すということになれば、ずーっと下の方へ行って 27番のところまでいかなくてはならないんです。だから、同じ分類の仲間と同じように使うということにはならないのかもしれないけれども、そういう意味での作業上ではやっぱり分類順に並んでないと、グループ、仲間ごとにとまとまってないと、あっちを見たり、こっちを見たりしなければならぬ。それは作業用のための表だとはっきり割り切ってやった方が良いのではないかなと思います。本当は、それに基づいてカードにしておくが一番良いですね、組み換えできますから。しかし、それは調査班の方でおやりになるべきです。今は、何もカードではなくてデータとして、データベースに入れておけばいいわけですから、これで良いんですけれども、アイヌ語でやるというのはまさにこの場合、正統的なやり方には違いないんですが、実際の作業をやるときには割り切って作業用の表を作る必要があるのではないかと私は

思います。これは調査班で検討していただきたい。

例えばイラクサなら、エゾイラクサがあって、ムカゴイラクサがあって、というふうに並んでいないと、あっちを見たり、こっちを見たりしなくてはいけない。

***作業主任**

ご指摘のように整理をしやすいようにしたいと思います。作業的にはコンピューター上では上手くキーワードを入れることで、先生がご希望のような分類も簡単にできるかと思しますので。

***座長**

表は両方あった方が良いでしょう。

***作業主任**

作業は、いとわないようにいたします。

***座長**

どういう表にするかというのは、お任せしますから。ご検討ください。

6. その他

***座長**

他にお気づきの点いかがでしょうか。

私は二風谷に住んでいるということもありまして、いろいろ聞いているのですが、今、調査班が一生懸命頑張ってくれているけれども、忙しいみたいだと。実際、本当に、進行状況がどれくらい、どういうふうになっているのかということが（気になっています）。この検討会は一応、来年の3月までですよ。そういうことも含めながら、前にも言ったことがあるのですが、時間がないから雑なものを作るのであれば、それは少し違うことだということで、その辺が実際、今、一生懸命きちんとしたものを作ろうとしているんでしょうけれども、今、先生が言うようなことの仕事が増えると、また時間が要ると（思うので）、そういうのもありながら、どういう状況なのかというのを聞きたいなと思います。

***作業主任**

今の状況ということですが、自己評価のようなことになるので言い方が難しいところがありますが、業務の委託・受託という関係のなかで示された課題的なことについては、懸命に取り組んでおりまして、かなり作業は進んでいるかなと自己評価をしております。これまで足かけ5年になりますので、できるだけ早くに成果としてまとめていくといったことも着手した当初から心がけておりますから、今日のような発表も何回も検討を重ねてきた、その一端をお出しするということで、比較的スムーズに準備できたかと思っています。ただ、こういうことがありまして、全体として「調査」ということになっておりますが、実は作業内容がやや「対策」にシフトしつつあるのかなと思うわけです。それは現場の

作業、例えば移植ですとか、あるいは番兵小屋についても丁寧に詳細にやろうということで、前後1週間ほど現場にかかったりとか、その後、出てきた物の処理とかということもありました。それから、移植についてはダム事業所さんも一緒になって、現地で掘り出して、また穴を掘って移植先に植えるというようなことも何日もやったりしたわけですが、当然そういった植えたものについてのフォローといったことも出てきます。ですから調査は引き続き継続するという項目もありますけれども、そういった対策といった業務内容が入ってきて全体としてはそういったものにシフトしていくという兆候がはっきりと出てきていることが現場の作業をやや圧迫しているようなところがあるかなと判断しております。課せられた業務課題については割とスムーズにこなしつつも、そういったことは率直に申し上げないと今、調査班が抱えている状況についてご理解いただくためには必要なことかなと思っております。

*** 座長**

調査班のご苦勞はよく分かりますし、随分よくやったださっていると私も思います。多分、委員のご心配というのは、あまり過大にいろいろなことを頼むと大変なことになるのではないかとということが一つあるのではないかと思います。ただこういうデータというのは、出してくださる方は一生懸命出してくださるんですけども、データそのものを見てケチをつけるというのは非常に楽なものですから、それでこう申し上げているというだけです。

だいたいこれで予定の時間なのですけれども、委員、何かご感想でも伺って(会を)閉じようかと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

それほどのございませんけれども、精神文化の保全に続いて、より具体的に植物保全、それから生活文化の保全というふうに検討の作業が進行していくという運びになっているわけですが、その際に関係の皆さん、とりわけアイヌ民族の意見をふまえながら先ほど座長のご提案があったような、具体的な意見を反映させていく場の設定も含めて進行させていくことが望ましいのかなというふうに考えております。

*** 座長**

どうもありがとうございました。

先ほど、調査班の方からカムイノミの説明がございましたけれども、趣旨については全くその通りでございます。ただ、ご存じの方は多いと思うのですけれども、知らない方に誤解があったら困るので主催は(北海道)ウタリ協会平取支部(以下:支部)で行います。ですから、先ほど述べた考え方は調査班の考え方というより、(支部と調査班)は協調してやっていますけれども、支部の考え方でそういう趣旨でやるということをご理解ください。説明(の内容)についてはその通りです。

*** 座長**

どうもありがとうございました。それでは今いただいたさまざまなご意見を反映して、より具体的な保全対策を作るとまとめたいというふうに思います。では、ここで準備された議題はすべてクリアしましたので、事務局にお返しいたします。お願いいたします。

***事務局**

辻井座長ありがとうございました。事務局といたしましても、本日もご議論、ご指摘いただいた内容をふまえて調査班とも協力して再度資料の方も整理しつつ、また引き続きご指導、ご相談させていただきながら、次のステップに進んで参りたいと考えております。引き続き宜しくお願いいたします。それでは、これをもちまして第5回検討会を閉会といたします。本日はどうもありがとうございました。